平成２８年度　事業報告書

自　平成２７年１２月　１日

至　平成２８年１１月３０日

一般財団法人　亀田郷地域センター

目　　次

１．事業助成 …… 1
（１）先進農業助成 ……1
（２）地域づくり助成 ……1
（３）健康管理助成 ……8

２．農業振興事業 …… 9
（１）講演会・研究会の開催 ……9
（２）地域農産物のＰＲ ……10
①田植え稲刈り体験会 ……10
②その他 ……12
（３）生産・加工・販売戦略 ……13
（４）調査・研究 ……14

３．地域振興事業 ……15
（１）地域づくり活動支援 ……15
①鳥屋野潟環境啓発 ……15
②鳥屋野潟南部開発計画の推進 ……16

４．受託事業 …… 16
（１）土地賃貸借事務管理 ……16

１．事業助成

（１）先進農業助成

農業者からの事業申請に応じ、事業費の一部を助成する制度である。
平成２８年度は本助成の申請はなかった。

（２）地域づくり助成

「地域づくり助成」制度により、農業の祭典、地域のたより発行などの取り組みに対する支援を行った。当年度報告のあった助成実績は以下の通りである。

項番	工区	申請団体	助成対象	種別	事業費	助成額
①	横越	横越工区(たけのこフェア実行委員会)	たけのこフェア	(1)	983,554	100,000
②	大江山	大江山工区(大江山地区文化とスポーツの祭典実行委員会)	大江山地区文化とスポーツの祭典	(1)	856,401	100,000
③		大江山工区(大江山地域づくり推進委員会)	大江山地域づくりだより	(4)	172,800	172,800
④		大江山工区(すごぼり桜まつり協賛会)	すごぼり桜まつり	(1)	709,992	100,000
⑤	亀田	亀田工区(新潟地区果樹振興協議会)	梨の実まつり	(1)	875,903	100,000
⑥		亀田工区(かめだ梅まつり実行委員会)	かめだ梅まつり	(1)	835,659	100,000
⑦	両川	両川工区(酒屋町商工会)	ゆめ祭り酒屋	(1)	1,364,113	100,000
⑧	曽野木	曽野木工区(曽野木商工会)	ふれあい曽野木祭り	(1)	703,494	100,000
⑨		曽野木工区(丸潟新田みどりの会)	紫陽花祭り	(1)	171,093	100,000
⑩		曽野木工区(俵柳神明宮)	俵柳神明宮改修工事	(5)	5,100,000	1,000,000
⑪	大形	大形工区(石動自治会)	石動地内御地蔵様土台修繕工事	(2)	210,600	40,000
		合　　計			11,983,609	2,012,800

種別　(1)　工区を最低の単位として行われる農業の祭典等
　　(2)　地域ごとに管理する文化財の保存
　　(4)　地域づくり協議会におけるたよりの発行
　　(5)　農村文化の核として歴史的にも価値が認められ、かつ、地域で管理している施設の改修・補修等

①	横越	たけのこフェア		実施日	H27.5.10
申請団体		たけのこフェア実行委員会		対象事業	(1)農業の祭典等
事業費(円)	983,554	助成額(円)	100,000	採択期	H26.11

事業の結果	○　来場者は家族連れが多く、群生する竹林に足を踏み入れたけのこ掘りを体験したり、試食のたけのこご飯や味噌汁等を味わいながら、のどかな時間を過ごしていた。販売用たけのこは、地元農家が当日早朝に掘り出し出荷したもので、その新鮮さから即刻完売となった。 ○　このイベントを通じて、藤山・駒込の集落と、隣接するうぐいす団地、また横越地区の各団体との間で、新たな連帯感が醸成された。
参加人数等	亀田郷農家　５０人　　その他　７００人　　合計　７５０人

②	大江山	文化とスポーツの祭典		実施日	H27.11.3
申請団体		文化とスポーツの祭典実行委員会		対象事業	(1)農業の祭典等
事業費(円)	856,401	助成額(円)	100,000	採択期	H26.11

事業の結果	○　地域づくり活動の一環として、様々な催しやスポーツ大会を通じ、農家と地域住民の交流により、農村集落の地域振興が図られ、大江山地域の連帯と協調が深められた。
参加人数等	亀田郷農家 380 人　その他 420 人　合計　800 人

③	大江山	大江山地域づくりだより			実施日	H27.11.24
申請団体		大江山地域づくり推進委員会			対象事業	(4)たよりの発行
事業費(円)		172,800	助成額(円)	172,800	採択期	H26.11
事業の結果	○　大江山地区で行われている地域づくり活動の広報、支援を目的として、「地域づくりだより」を発行した。					
参加人数等	総世帯数　約 2000 世帯に配布					

④	大江山	すごぼり桜まつり			実施日	H28.4.4～21
申請団体		すごぼり桜まつり協賛会			対象事業	(1)農業の祭典等
事業費(円)		709,992	助成額(円)	100,000	採択期	H28.2
事業の結果	○　横越排水路(すごぼり)の桜並木にぼんぼりを点灯し、花見用のテントを設営し、地域の方々に利用して頂いたことで、益々桜の名所となり、地域交流に寄与した。					
参加人数等	観桜会　亀田郷農家　５５人　　その他４３人　　合計　９８人					

⑤	亀田	梨の実まつり			実施日	H27.10.11
申請団体		新潟地域梨振興協議会			対象事業	(1)農業の祭典等
事業費(円)		875,903	助成額(円)	100,000	採択期	H27.2
事業の結果	○　当日、悪天候ながら、多数の来客があり、梨の販促・イベントも盛況だった。１日観光農園と銘打って、日ごろ梨を収穫したことのないひとから、収穫体験を楽しんでもらったり、皮むき選手権ではお孫さんと一緒の参加もあった。また、生産者からは大玉選手権大会と称し各自一番大きい新高を出品展示、1.6kg 強の大玉が一等となった。 ○　消費者との楽しい交流の場を設けることができた。					
参加人数等	亀田郷農家 30 人　その他 20 人　来客数　約 1200 人					

⑥	亀田	かめだ梅まつり			実施日	H28.3.12～4.3
申請団体		かめだ梅まつり実行委員会			対象事業	(1)農業の祭典等
事業費(円)		835,659	助成額(円)	100,000	採択期	H27.11
事業の結果	○　今年は梅の開花が例年よりも早く、期間前から散策客が多く訪れていた。 ○　3/27 にイベントを開催。うち 1500 人がスタンプラリーに参加した。また、開花期間中を合わせて約 2000 人以上が散策に回った。 ○　区役所前で地場産農産物を販売。商工会青年部の協力得て、好評を博した。 ○　広報は市報ほか、商店街に梅の剪定枝・花とともにリーフレットを設置。 ○　別途、飲食店・菓子店でも梅を使った料理や商品の販売にも結びついた。					
参加人数等	亀田郷農家 40 人　その他 20 人　期間中コース散策者　約２０００人					

⑦	両川	ゆめ祭り酒屋			実施日	H28.9.10
申請団体		両川工区（酒屋町商工会）			対象事業	(1)農業の祭典等
事業費(円)		1,364,113	助成額(円)	100,000	採択期	H27.11
事業の結果	○　地元の農業、商工業を交えた一大イベントとして、大勢の来場者でにぎわった。特に、地元農産物、農産加工品を販売するＪＡコーナーは一番の人気であった。 ○　地域外からの来場者も多く、地元農産物と消費者を直接つなぐイベントとしてＰＲ効果もあり、農業振興に大きく貢献できた。					
参加人数等	総来場者　3400 人程度　　亀田郷農家(出展者)20 名程度					

⑧	曽野木	ふれあい曽野木祭り			実施日	H27.10.11
申請団体		曽野木工区(曽野木商工会)			対象事業	(1)農業の祭典等
事業費(円)		703,494	助成額(円)	100,000	採択期	H27.2
事業の結果	○　地元農産物・商工業の商品販売を通して、地域消費者との交流ができ、コミュニティーづくりに大いに活用できた。					
参加人数等	亀田郷農家１０人　曽野木商工会３６人　その他約８００人					

⑨	曽野木	紫陽花祭り			実施日	H28.7.3
申請団体		丸潟新田みどりの会			対象事業	(1)農業の祭典等
事業費(円)		172,274	助成額(円)	100,000	採択期	H26.3
事業の結果	○　多自然型工法で整備された清五郎排水路を、地域のシンボルとして守り育て、丸潟新田の宝物とする為、地域住民全員が参加するあじさい（住民植栽）灯籠祭りを開催した。親睦を深める効果があった。 ○　祭りに先立つ 6 月 26 日、清五郎排水路の植栽箇所 334m と、県道一日市線上流部植栽箇所 180m の、草刈・搬出作業を行い、農村環境の保全に努めた。					
参加人数等	亀田郷農家　45 人　　その他　16 人　　計 61 人					

⑩	曽野木	俵柳神明宮改修工事			完成日	H28.8.8
申請団体		俵柳神明宮			対象事業	(5)農村地域管理施設の改築補修
事業費(円)		5,100,000	助成額(円)	1,000,000	採択期	H27.11
事業の結果	○　俵柳神明宮の老朽化に伴い、屋根を中心に損傷の著しい箇所の改修工事を完了した。					
参加人数等	亀田郷農家　13 人　　その他　10 人　　計 23 人					

⑪	大形	石動地内御地蔵様土台修繕工事			実施日	H28.10.15～25
申請団体		石動自治会			対象事業	(2)文化財の保存
事業費(円)		210,500	助成額(円)	40,000	採択期	H28.02
事業の結果	○　地域の安寧を願い古来から建立されていた地蔵様の風化が著しく、損壊のおそれがあった。 　しかし、今回新たに土台工事を含めての工事で改善された。					
参加人数等	亀田郷農家　　４人　　その他　　人　　合計　　４人					

（３）　健康管理助成

農家の定期健康診断の受診率向上を目的として、１人あたり５千円を上限に助成した。助成人数・金額は、７５６名・３，７８０，０００円であった。

平成２７年度　工区別助成人数・金額

工区	人数(人)	交付額(円)
横越	153	765,000
大江山	71	355,000
亀田	101	505,000
両川	89	445,000
曽野木	84	420,000
鳥屋野	25	125,000
山潟	46	230,000
石山	85	425,000
大形	102	510,000
合計	756	3,780,000

【参考】過去の助成人数・金額

年度	人数(人)	交付額(円)
H27(@ 5,000)	770	3,840,880
H26(@ 5,000)	777	3,880,760
H25(@ 5,000)※ (12 か月換算値)	531 (797)	2,652,600 (3,988,900)
H24(@10,000)	848	8,454,992
H23(@10,000)	904	9,023,600

※H25.12 月に一般財団法人に移行したことにより、
H25 年度は H25.4～11 の 8 か月間で集計した。

２.農業振興事業

（１）講演会・研究会の開催

①新潟農業経営塾

新潟大学伊藤忠雄名誉教授を主宰に、県下で活躍する農業法人経営者を講師に招き、農業の見通しや経営の工夫について語ってもらった。今年度は特別編を含め７回開催し、合計２９５名の聴講者が参加した。

回 開催日	講　　師	参加者 数
第 20 回 H27.12.2	(株)曽我農園　代表取締役　曽我　新一　氏 (新潟市北区)	66 名
第 21 回 H28.2.3	(株)エフ･エフ･エス　代表取締役　吉澤　仁　氏 フラワーファームしろね　(新潟市南区(旧白根市))	44 名
特別編 H28.3.26	内閣官房　企画官　吉田　竹志　氏 TPP 政府対策本部	25 名
第 22 回 H28.4.6	(有)グリーン　代表取締役　平石　博　氏 (長岡市(旧越路町))	38 名
第 23 回 H28.6.1	(株)新耕農産　代表取締役　板垣　栄一　氏 (村上市(旧神林村))	41 名
第 24 回 H28.8.3	(有)佐々木耕起組合　代表取締役　後藤　和巳　氏 (新発田市)	44 名
第 25 回 H28.10.5	苗場高原生産組合　代表(組合長)　柳　恵一　氏 (十日町市)	37 名
	合　　計	295 名
	(H27 年度：H26.12～H27.10：6 回)	306 名
	(H26 年度：H25.12～H26.10：6 回)	363 名
	(H25 年度：H25.4～H25.10：4 回)	340 名
	(H24 年度：H24.10～H25.2：3 回)	316 名
	累　　計	1,620 名

（２）地域農産物のＰＲ

①　田植え・稲刈り体験交流会

亀田郷土地改良区事務所脇の体験田で、家族田植え・稲刈り体験交流会を開催した。昔ながらの手植えや鎌での刈り取り作業を一般の方々に体験していただいた。

（ａ）田植え体験交流会：H28.6.4(土) 快晴

233 名参加（有料（小学生以上）…170 名）

（うち「グリーンサークルにいがた」参加者…40 名）

今年度は、TeNY テレビ新潟の環境啓発キャンペーン「グリーンサークルにいがた」との協力体制を取った。同キャンペーンで募集した参加者（スタッフ含め）40 名を受け入れ、例年通りの募集の参加者と一緒に田植えを体験していただいた。当日の状況は録画で２週間後に県内放映された。

また前年に続いての協力により、お米クイズ（新潟農業普及指導センター）、出前健康チェック（新潟医療生協）、農産物販売（亀田農業者会議）も実施し好評を博した。

（ｂ）稲刈り体験交流会：H28.10.1(土) 晴れ

246 名参加（有料（小学生以上）…165 名）

（うち「グリーンサークルにいがた」参加者…30 名）

田植えに引き続き、TeNY テレビ新潟「グリーンサークルにいがた」との協力体制を取り、同キャンペーンから参加した 30 名と一緒に、稲刈りを体験していただいた。この時の様子もテレビ放映された。

また、出前健康チェック、農産物販売も、田植えに引き続き実施した。

（ｃ）収穫米の活用

収穫米の収量は玄米で 960kg(前年比 110kg 増)となった。精米し、500kg は 1kg 小袋詰めにしラベルを貼って、参加者や協力者へ宅配便により配送した。

その他の収穫米は、今回新たな活用先として、新潟市食育・花育センターならびに新潟市社会福祉協議会の協力を得て、福祉連携、「こども食堂」への提供を行った。亀田郷周辺で 11 団体が、こども食堂を運営している。各団体へおおむね 20kg ずつ届け、こども食堂での活用を図っていただいた。

② その他、イベント等による地域農産物のＰＲ

・江南区アスパークまつり（平成 28 年 6 月 5 日）

亀田農業者会議と協力し、野菜直売を行った。

・新米コシヒカリおむすび配布イベント（平成 28 年 10 月 25 日）

亀田農業者会議と協力、JR 亀田駅通路にて、新米コシヒカリおむすびの配布を行った。

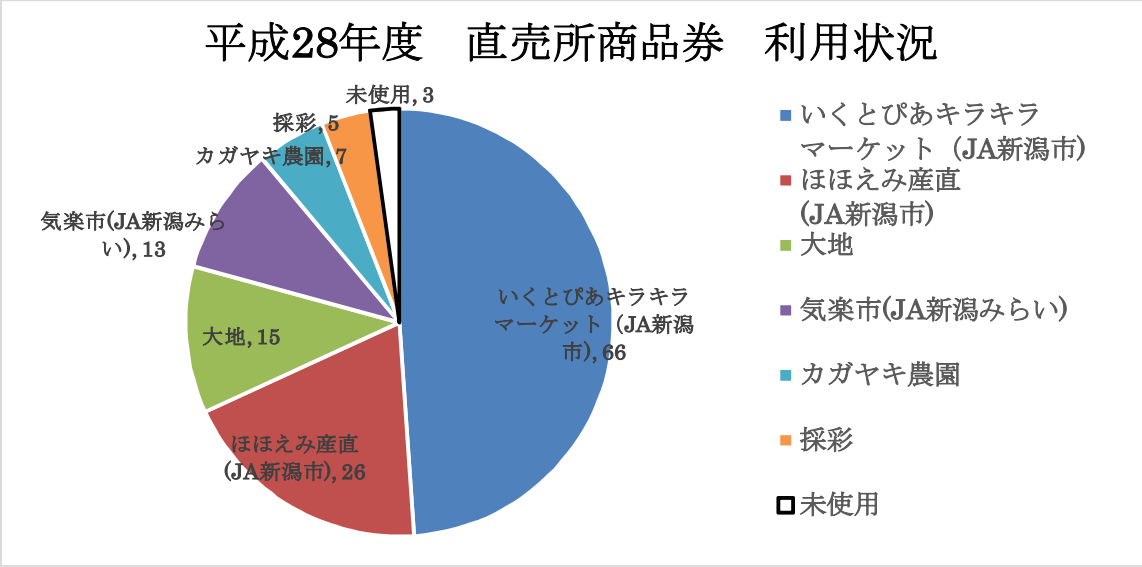
・江南区 旬果旬菜いきいきフェスタ（平成 28 年 10 月 30 日） および

直売所商品券発行（利用期間：平成 28 年 10 月～12 月）

亀田郷農産物直売所の利用促進を図るため、郷内８箇所の直売所で利用できる商品券を発行した。（当センターから 500 円券 120 枚、亀田農業者会議から同 15 枚）

配布は、平成 28 年 10 月 30 日に開催された「新潟市江南区　旬果旬菜いきいきフェスタ」の会場で、亀田農業者会議が実施するイベント「運命の荒縄」の景品として配布した。

商品券利用状況は、平成 28 年内を利用期限とし、132 枚、98%が利用された。



（３）生産・加工・販売戦略

◎　アロニア生産支援

前年に引き続き、「アロニア」の生産支援を行った。生産者（亀田農業者会議アロニア部会）から業者へ集荷を依頼する場合に必要となる、集荷保管委託料等相当額を、当該部会へ助成した。

○　収穫量　　６．５トン（前年比＋０．３トン）

○　２８年度　販売先

集荷業者を通じ、下記の出荷先へ販売した。

・(株)みなもと農園「新潟亀田アロニア　飲むお酢／ジャム」

これまで集荷を担ってきた同社が、自社ブランド製品を開発、製造ラインは石山味噌醤油(株)に委託し、28 年 1 月に製品を発売、亀田地区内の直売所や、雑貨販売ルートで流通している。

平成 28 年秋には、新潟伊勢丹がキャンペーンを行っている「NIIGATA 越品（えっぴん）」シリーズに採用され、贈答品やオンラインストアでの取り扱いも始まっている。

・㈱山崎製パン「ランチパック　新潟県産アロニアのジャム＆ホイップ」

新潟県産食材を活用したランチパックとして、平成 28 年 12 月～29 年 1 月の限定で、新潟県と関東地方で発売された。取り扱いルートが広く、認知度を高める契機となった。

トキとの共生応援
県産食材使用のパン発売
CO2排出抑制度を利用
山崎製パンが発売した「カーボン・オフセット」制度を利用したランチパック

（４）調査・研究

◎水辺・潟環境の利活用に関する調査

期日：平成 28 年 7 月 23～24 日

視察先：滋賀県大津市　なぎさのテラス　　湖岸の堤防整備・公園整備と飲食施設の設置事例

滋賀県近江八幡市　八幡堀　　蔵や堀など歴史的景観の保全活動、堀割観光船など観光資源としての活用

同　ラコリーナ近江八幡　　観光型菓子工場ながら、農村環境の再生を図った施設。維持管理まで商業運営。

滋賀県長浜市　黒壁スクエア　　城下町宿場町の歴史的景観の保全・活用。空き屋・町屋を定期借家・改修の上、小口転貸。

堀割の保全・修景
(近江八幡市八幡堀)

芝張りの屋根・里山を借景
(ラコリーナ近江八幡)

定期借家した町屋を小口転貸
(長浜市黒壁スクエア)

３．地域振興事業

（１）地域づくり活動支援

① 鳥屋野潟環境啓発

水害防止、生態系保全など、鳥屋野潟が担う多面的な役割を啓発するため、鳥屋野潟環境啓発事業を実施した。活動内容は、鳥屋野潟で行われる、行政や環境団体の活動に協力し、「板合わせ」による親水体験などを実施した。

なお、体験会の実施と板合わせの管理は、鳥屋野潟漁協に委託した。

年月日	イベント名	参加人数	協力団体
H28.6.10(金)	山潟小学校５年生総合学習 板合わせ乗舟体験	80 人	山潟小学校
H28.6.22(水)	桜が丘小学校４年生総合学習 板合わせ乗舟体験	86 人	桜が丘小学校
H28.7.17(土) ～18(日)	鳥屋野潟環境舟運 板合わせ乗舟体験	173 人 (板合せ) 592 人 (合計)	鳥屋野潟環境舟運実行委員会（新潟市他）
H28.8.28(日)	清五郎一本松　八人衆改修イベント 潟舟乗舟体験	60 人	清五郎一本松の会 （新潟市補助事業）
H28.10.8(土)	とやの物語　鳥屋野潟ミニクルーズ （雨天中止）	－	とやの物語実行委員会（事務局　新潟市中央区区民生活課）

H28.7.17～18 鳥屋野潟環境舟運

② 鳥屋野潟南部開発計画の推進

住居ゾーンについて、関係する土地改良区工区・地元組織「長潟を考える会」は、今年度、土地利用に関する構想の具体化を行った。7 月には、物流施設など、関連施設の視察（埼玉県）を実施した。地権者の理解を醸成し、地権者会準備会の設立を目指している。

当センターも工区・地元への情報提供を行い、地権者の理解と合意形成に向けて連携する。

４．受託事業

（１）土地賃貸借事務管理

鳥屋野潟南部開発区域　国際文化・教育ゾーン内の(株)アルビレックス新潟と地権者の間で締結された借地契約について、土地賃貸借事務管理を、昨年に引き続き受託した。

（新潟市中央区鍋潟新田地内　32 筆 約 2.9ha　関係地権者 7 世帯 1 法人）
（地域センターH28 年度事業収入　４２４，５３２円）